

## 最良の政策は自由貿易

保護貿易の脅威が、増大しています。保護貿易は常に危険な、そして愚かな政策です。特に経済危機の状態でおこなわれると、世界経済に対する脅威となります。保護貿易の特徴は国内の生産者の独占を認めることで、国に繁栄がもたらされるということです。数世紀に及ぶ経験と研究が、この特徴が幻想であることを示しています。保護貿易は、繁栄では無く、貧困を作ります。保護貿易は、国内の仕事あるいは産業を「守り」さえしません。輸出産業と原材料を輸入に依存した産業を破壊します。国内の鉄鋼会社を「保護する」ために鉄の国内価格を上げることは、自動車の原価や鉄を利用する産業の原価を押し上げます。保護貿易は、愚か者のゲームです。

しかし貧困をもたらすことが、保護貿易の最悪の影響なのではありません。保護貿易は、平和も破壊します。私たちは、善意の人々、教養のある人々に対して、丁寧に、そして力強く、国家主義的経済が矛盾を抱えること、無知であるために保護貿易主義が横行することを伝え、保護貿易に反対すること表明します。

250年前モンテスキューは、「交易が平和をもたらす」と指摘しました。一方の国に購入の意図があり、もう一方の国に売却の意図があれば、二つの国はお互いに依存します。

交易の最も貴重な成果は、平和なのです。貿易は、異なる民族の異なる文化を乗り越えて平和な関係を実現します。貿易が促進されることで、異なる言葉を学び、それぞれの社会の規範や法律、あるいは期待あるいは需要を、またその民族の特性を理解するのです。

相互に有益な関係を構築する交易が、平和な関係を促進します。パリとリヨン、ボストンとシアトル、カルカッタとムンバイといった国内の取引がそれぞれの利害関係を結び付ける様に、パリとポートランド、ボストンとベルリン、カルカッタとコペンハーゲン間の貿易がそれぞれの利害関係を結び付けます。

歴史の中の悲惨な経験と研究が、貿易が平和を促進するということを示しています。

「貿易が平和をもたらす」という事実を無視したために生じた悲劇が、第二次世界大戦です。

米国のスムート - ホーリー関税と他の国の報復関税は、1929年から1932年の間に国際貿易が70%も減少した大きな原因となりました。経済学者マーティン・ウルフは「この貿易の崩壊が、特にドイツと日本に自国の経済圏での自立、すなわち国際的な孤立を促した」と指摘しています。

そして、これまでの歴史の中で最も恐ろしい、戦争が起りました。

交易が命を守り、戦争を減らします。交易が繁栄をもたらし、そして繁栄は連鎖し、命を守ります。自由貿易を進めることが繁栄を促進するということは、否定できない事実なのです。繁栄が、市井の人々の長寿と健康をもたらすのです。

自由貿易によって、人々の穏やかな生活の中で、互いに理解したり、各地の文化を体験し楽しむ機会を得るのです。

自由貿易によってもたらされる品物と思想により文化は、より豊かなものになります。

自由貿易が、実質経済の繁栄をもたらすことは疑いの無いことです。しかし、自由貿易の恩恵を測定することは、容易ではありません。自由貿易の恩恵は、自由で満ち足りた命であり、その価値は戦争によって失われた時に認識されるのです。

目先の利益だけを求め、貿易障壁を設けようとするすべての国の政府を説得するために、私たち署名人は各国政府への嘆願を共同しておこないます。加えて、私たちは政府に現在の貿易障壁を取り除くことを求めます。私たちは、各国の国民の工場からもたらされる生産物や天才の発想を、自国の国民だけでなく世界中の人々と共に享受することを、各国政府に誓願いたします。この結果、より大きな繁栄と、より豊かな生命と平和がもたらされるからです。